

「保護者のみなさん一緒に考えてください」その3の①

10月も中旬あたりから急に寒くなりました。よく言われていますが、秋を飛び越えて一気に冬がやってきた感じですね。学校でも学生服やセーラ服に身を包んで登校する生徒が増えてきました。



さて、「その2」では「なぜ自尊感情が低いのか？」について書きました。そこで、「その3」では、子どもたちの自尊感情の高揚に向けて、学校と家庭でどのようなことができるかを一緒に考えていただけたらと思います。

なお、「その3」につきましては記載内容が多くなりましたので、2回に分けてお伝えさせていただきます。今回は「その3の①」ということで、「その3の②」につきましては、11月に入りましたらすぐにホームページにアップいたします。よろしくお願いいたします。



以前からもお伝えしているように、本校では「子どもたちの自尊感情の高揚」は最も大きな課題と捉えています。この課題の克服は、そう簡単にできるものではないと考えます。学校としても、これからその克服に向けて、教職員間で議論を重ねながら、計画的に地道な取り組みから始めていき、時間をかけながらも自尊感情の高揚を少しずつでも図っていきたいと考えています。しかし、まずはできることとして、次の3点について、今後学校では注力して取り組んでいきたいと考えています。

(1) 「ありがとう」など肯定的評価の声を増やします

本校の子どもたちと接していて、気分を害することはめったにありません。周りに迷惑になる行動や態度を平気で取ったり、汚い言葉を発したりなど、私が吉中に来てからほとんど見たり聞いたりしません。もちろんゼロではないでしょうが、少ないのは事実です。逆に、こちらの心が洗われるような姿をよく見せてくれます。一生懸命掃除に取り組んだり、さりげなく友達の荷物を持ってあげたり、きちんとお礼の言葉が言えたり。見ていて、接していて気持ちがよくなることが多いです。

あらためて子どもたちをよく見ていると、いたるところでそのような場面に出くわします。私たち教職員も、これが日常になっているので、変に慣れてしまっているのではという反省があります。ここで「評価」という表現を使うのはふ



さわしくないかもしれませんが、肯定的な評価をもっと子どもたちに対して示していきたいと考えます。何かをしてくれたら「ありがとう」、何かをやり遂げたら「がんばったね」、その他「うれしいな」「いいね」などなど。とってつけたような声掛けは子どもたちもうれしくないと思います。けれど、「子どもたちのよさを見つけよう」というワクワクした気持ちで子どもたちを見ていけば、いくらでも「よさ」に気づけるだろうし、そのたびに肯定的評価を声に表示していけたら素敵だと思うのです。きっと子どもたちのやる気や意欲につながっていくでしょうし、それらが積みあがっていけば自信につながっていくと思うのです。そして、肯定的評価の声があちこちで聞かれる学校、教職員が「今日は子どもたちのどんないいところが発見できるかな」とワクワクしながら子どもたちを見ている学校って、想像するだけで気持ちがほのぼの、ポカポカしてきます。とても居心地のよい空間、雰囲気生まれると思うのです。積極的に肯定的評価の声を増やしていきたいと思います。

(2) 「自律」と「思いやり」の意識づけを再度行っていきます

以前、学校だより「笑顔で会える学校」でも記載しましたが、私は子どもたちに「自律」と「思いやり」を意識して行動するように年度当初から話しています。しかし、まだまだ子どもたちに強く意識づけるところまでできていません。学校だよりの10月28日号にも再度子どもたちに向けて書きましたが、今一度学校でも「自律」と「思いやり」を子どもたちに意識づけするようにしていきます。



「自律」とは、わかりやすく言えば、自分で考え、判断し、行動することです。常にこの意識を持ち、すぐに人を頼るのでなく、自分でなんとかしようとする姿勢を持ち続けることで、時に失敗もするでしょうが、そこでまた自分で考え、今度は失敗しないように工夫する。そしてうまくいったならば、自分で苦労しただけに喜びも大きくなり、それは大きな自信になっていきます。その繰り返しと積み重ねで、子どもたちは大きく成長していきます。

「思いやり」は周りの人の心を柔らかくほぐし、心を開かせ、人との距離を縮めます。そして自分の心も豊かにしていきます。みんなが「思いやり」のある行動ができれば、そこには温かい空気が流れ、安心感に包まれていきます。その安心感の中では、思い切って自分を出すことができるようになります。自分らしさが出せるようになります。そして周りもそれを受け入れ、認めるようになります。自分のことを自分で認められるようになり、「自分が好き」と思えるようになります。

「自律」と「思いやり」。子どもたちに浸透するように努力していきたいと思います。



(3)以降につきましては、「その3の②」でお伝えいたします